

# 財 政 事 情

『滋賀県基本構想 ~未来を拓く共生社会へ~』の実現に向けて



平成21年(2009年)5月

滋 賀 県

## 滋賀県の姿

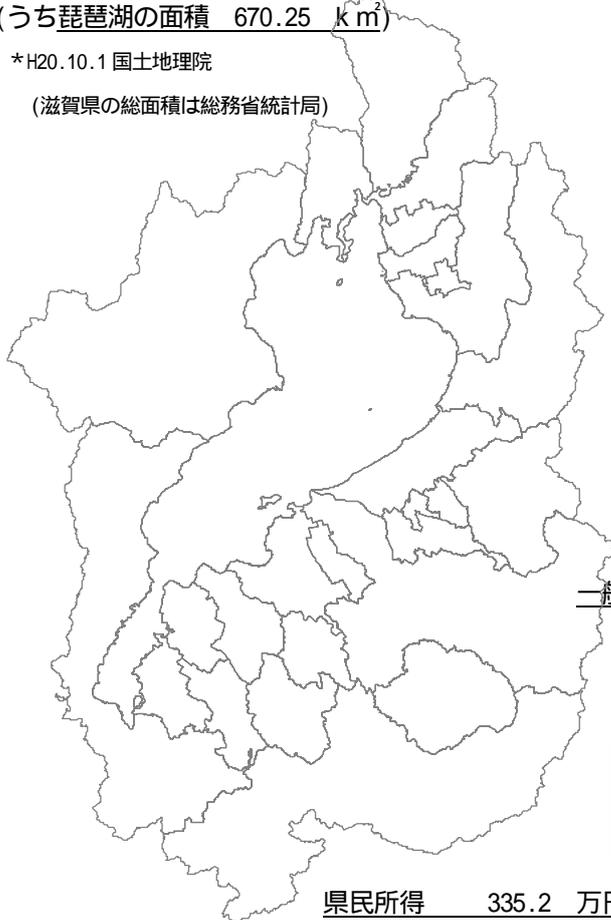
(内の順位は、全都道府県中数値の大きい方からの順位です。)

総面積 4,017.36 km<sup>2</sup> **38位**

(うち琵琶湖の面積 670.25 km<sup>2</sup>)

\*H20.10.1 国土地理院

(滋賀県の総面積は総務省統計局)



市町数 13市13町 (H18.3.20~)

人口 1,380,361 人 (H17.10.1 現在)

**31位**

増加率 2.8 % (対H12.10.1 現在)

**5位**

世帯数 479,217 世帯 (H17.10.1 現在)

**32位**

増加率 8.8 % (対H12.10.1 現在)

**2位**

一般世帯平均人員 2.85 人 (H17.10.1 現在)

(3.02 人 (H12.10.1 現在))

\*人口、世帯数は総務省統計局「国勢調査」

平成21年4月1日現在 (滋賀県統計課)

人口:1,400,217人、世帯数:527,190世帯

県民所得 335.2 万円 (県民1人当たり)

**4位**

\*内閣府「平成18年度県民経済計算年報」

実質経済成長率 3.6 % (県内総生産 (生産側) 実質:連鎖方式)

**9位**

\*内閣府「平成18年度県民経済計算年報」

県内総生産における第2次産業の占める割合 46.7 %

**1位**

\*内閣府「平成18年度県民経済計算年報」

### 表紙の絵

八木奇峰「鶏図」1幅

滋賀県立近代美術館所蔵

絹本着色・軸装 58.3×86.2(cm) 江戸時代19世紀半ば頃

現在の長浜市下八木町に生まれた八木奇峰(1804-76)は、長浜の山縣岐鳳に狩野派を学び、京に出て四条派の巨匠、松村景文に師事しました。御所や宮家の障壁画の制作などにも従事し、幕末には堅実な四条派の画家として高い評価を受けていました。「鶏図」は、雌雄の鶏と雛3羽、いわば鶏の家族を擬人化したように描いています。朝顔が花を咲かす清々しい朝に、立派な姿の鶏が家族として平穩に暮らす様は、一種の吉祥画として描かれたのでしょうか。全体として硬さが認められるものの、写生力の堅実さをもとに、色彩感も豊かで、輪郭線を強く引き、構図もまとまりをみせています。近年、長浜城歴史博物館で個展が開催されるなど、郷土出身の画家として再評価の動きがみられます。